

2020 年度

(2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで)

事業報告

公益財団法人 新日本先進医療研究財団

第1 事業の状況

今年度の事業は、がん及び生活習慣病に関する先進医療研究分野に関する研究者及び研究機関に対して助成金を贈呈する為、令和2年度第6回助成金応募を7月より行い、同年12月に30名の受賞者を決定、助成金を交付した。なお、今年度は「がん」及び「新型コロナウイルス感染症」に関する研究、助成金額を1件あたり100万円～200万円、総額3,600万円の助成を決定した。

第2 事業の成果

1. 助成金の交付

がん及び生活習慣病に関する先進医療分野の研究者及び研究機関に対し、研究助成金を交付。

(1) 助成対象

がん及び生活習慣病に関する先進的な研究の、国内において従事する研究者または研究機関が行う研究で、その成果ががん及び生活習慣病研究の進歩、発展に著しく貢献すると考えられるもの。

なお、令和2年度は「がん」及び「新型コロナウイルス感染症」に関する研究
※今般、新型コロナウイルス感染症が全世界で問題となっていますが、がん患者や化学療法を受けている方において特に重篤化しやすく、呼吸器系、心血管系などの様々な合併症で致死率が上がることが知られています。そこで今年度は、「がん」領域研究に加え、「新型コロナウイルス感染症に関連する分野」の研究も広く助成対象としました。

(2) 助成金額

1件あたり100～200万円を上限として支給

(3) 令和2年度助成金受賞者

公益財団法人 新日本先進医療研究財団 令和2年度（第6回）研究助成金受賞者

【がん関連研究】

氏名	所属機関	研究題目
池永 直樹	九州大学病院 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科	膵癌間質による免疫制御メカニズムの解明 ―間質標的性免疫治療の樹立へ向けて―
石本 崇胤	九州大学大学院 薬学研究院 抗がん剤育薬共同研究部門	抗がん剤が誘導する細胞老化を治療標的にする学術的基盤の確立
伊藤 心二	九州大学病院 肝臓・膵臓・門脈・肝臓移植外科(消化器・総合外科)	肝癌の腫瘍免疫と多様性のメカニズム解明と個別化治療への展開
岩本 英希	久留米大学 内科学講座 消化器内科部門	肝細胞癌における分子標的治療薬耐性と癌関連繊維芽細胞の関与の解明
嬉野 博志	佐賀大学 医学部 血液腫瘍内科	慢性骨髄性白血病治療のための白血病幹細胞を標的とした新規DNAメチル化阻害剤併用治療戦略
大口 裕人	熊本大学生命資源研究支援センター 疾患エピゲノム制御分野	ヒト骨髄腫アバターモデルマウスの開発と骨髄腫特異的骨髄微小環境の解明
勝屋 弘雄	佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科	HTLV-1 とヒトゲノムのキメラトランスクリプトと ATL 発症機序との関連の解明
菊繁 吉謙	九州大学病院 遺伝子細胞療法部	ヒト白血病幹細胞特異的代謝特性としてのフォスファチジン酸代謝経路の解明と標的治療法の確立
菊地 一史	九州大学病院 放射線科	神経膠腫の IDH 遺伝子変異の同定 ; MRI による非侵襲的診断法の確立
後藤 和人	九州大学病院 検査部	ミトコンドリア翻訳・代謝を標的とした骨髄性白血病の新規治療法の開発

齋藤 大介	九州大学大学院 理学研究院 生物科学部門	高精度 <i>in vivo</i> ライブイメージングによる血行性転移機構の解明
阪上 尊彦	久留米大学 先端癌治療研究センター肝癌部門	膝液エクソソーム由来 <i>microRNA</i> 解析を基盤とした血清学的膝癌診断法の確立
幣 光太郎	宮崎大学医学部 内科学講座 消化器血液学分野	小胞体ストレス応答と腫瘍由来 <i>fibrocyte</i> に着目した、骨髄増殖性腫瘍の病態解明
島田 緑	山口大学 共同獣医学部	難治性乳がんの予後不良因子によるエストロゲン受容体の活性調節機構
土橋 賢司	九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科	RNA修飾による消化器がんの免疫逃避機構の解明
廣末 晃之	熊本大学病院 歯科口腔外科	細菌由来の短鎖脂肪酸による代謝とエピゲノムのクロストークを介したがんの治療抵抗性機序の解明
古田 拓也	久留米大学医学部 病理学講座	膠芽腫の診断・治療のパラダイムシフトを目指した新規バイオマーカーの分子基盤
細川 健太郎	九州大学大学院医学研究院 幹細胞再生修復医学分野	外因性 <i>shelterin</i> 因子によるAML幹細胞の自己複製抑止技術の開発
三浦 静	九州大学 生体防御医学研究所	誘導腸前駆細胞を用いたヒト大腸がんモデルマウスの作製
向井 英史	長崎大学 生命医科学域(薬学系)医薬品情報学分野	血液毒性を軽減した安全性の高い α 線放射免疫がん治療薬の開発
柳 重久	宮崎大学 医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学	シングルセルRNA-seq解析に基づく、肺胞上皮前駆細胞内老化因子が指導するがん微小環境形成と癌関連線維芽細胞の新生機構の解明
山内 拓司	九州大学病院 病態修復内科学	<i>de novo</i> プリン代謝経路を標的とした新規AML治療法の確立

山田 純	九州大学 大学院医学研究院 神経解剖学分野	海馬の糖鎖関連因子を基盤とするがんと抗がん剤による認知機能障害の解明
横山 勢也	鹿児島大学 大学院医歯学域医学系腫瘍学講座病理学分野	機械学習による膵臓癌摘出術後予後予測エピゲノムマーカーの創出

【新型コロナウイルス関連研究】

池田 輝政	熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子ウイルス・遺伝学分野	コレステロール代謝制御タンパク質の SARS-CoV-2 感染に対する役割の解明
幸脇 貴久	熊本大学大学院生命科学研究部 免疫学講座	新型コロナウイルスの自然免疫回避機構の解明
野下 浩司	九州大学 大学院理学研究院 生物科学部門	新型コロナウイルスの標準治療確立に資するウイルス感染動態の定量的データ解析
松永 直哉	九州大学 大学院薬学研究院 グローバルヘルスケア分野	貼るマスク「マイクロカレントマスク(マイカレマスク)」によるコロナ予防と肺がん、COPD治療の両立
門出 和精	熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座	SARS-CoV-2 を標的とした薬剤スクリーニング系の確立と候補化合物の探索
米川 晶子	九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科	COVID-19 感染者における SARS-CoV-2 特異的抗体定量及び抗体遺伝子レパトア解析の長期的検討